

地域の中の様々なつながり

法人では地域の方々や団体の皆さまとの関係を広げ、深める活動をしています。秋以降では、障害者総合センターなどでの「むさしのあつたかまつり」(10月20日)を関係団体の力を結集して、また桜堤ケアハウスでは「介護と福祉の地域広場」を開催しました。この他にも地域の様々なイベントにお店を出したり、ワークショップをする機会がずいぶん増えました。日頃からお付き合いさせていただいている福祉の会の一つ、大野田福祉の会では20周年のつどい(11月23日)で多様な取り組みが報告されていました。この会の「障がい者部会」は例年2月に《お互いに顔見知りになろう》を合言葉とした交流広場を総合センターで開いています。「びーと」もそのメンバーです。

北町5丁目町会の餅つき行事にも伺わせていただきました(12月9日)。今度開所する「わくらす武蔵野」も同じ町内で、地域の方々からは不安や心配もないわけではないけれども、まずは良い関係を持とう、と受け止めていただけるようになりました。わくらすの支援理念は《地域の中でつながり豊かに自分らしく生きる》です。まずはご利用者が新たな生活に慣れ親しめるよう全力を尽くしたいと思いますが、さらにはこの場が地域の中で積極的な意味を持てるように努めることが大事だと認識しております。

私どもは1993年に事業を始め、ご利用者のニーズや市の計画に沿う形で事業を拡げてきました。それは同時に地域の皆さまと顔なじみになる年月でもありました。地域の皆さまからお力添えをいただくこともあれば、厳しいご意見をいただくこともありました。改めて御礼申し上げるとともに、今後も努力を重ねて参りたいと思います。

(平成31年2月)